



2023年度震災復興支援基金  
「パル未来花基金」助成グループ報告会

星空キッズツアー



パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」  
「組合員への助成活動レポート」

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	星空キッズツアー
支援対象者・エリア	福島県内在住の子どもと保護者（希望者）
企画開催地	山梨県北杜市武川町・高根町清里
企画名称	星空キッズツアー2023 in 清里
実施期間	2023年8月5日～7日

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

3. 11 震災後の原発事故による放射能の影響から避難するために、2011年から取り組んでいます。夏休みを利用して、星のきれいな清里で2泊3日を過ごす活動をしてきました。当初は、放射能をなるべく避けるということが大きな目的でした。夜にうなされる子、鼻血を出す子、食欲のない子、熱を出す子など、体の不調を訴えるお子さんが多く、表情も硬く精神的にも緊張を強いられている様子でした。2020年からはコロナ禍も重なり、子どもたちは日頃我慢を強いられる生活を送っていることから、ツアーではなるべく自由に遊ぶ時間を確保しようと実施しています。2021年はコロナ禍ながら準備を進めていましたが、直前の中止にスタッフもがっかりしました。2022年は、スタッフは出発前にPCRか抗原検査をしました。宿泊先は、1泊目は北杜市武川町のみんなのおうち公園に、2泊目は清里にある調布市八ヶ岳少年自然の家としました。2023年度も同様の宿泊先に受け入れてもらいました。

1日目は福島、郡山から貸切り大型バスで山梨県北杜市武川まで直行しました。みんなのおうち公園に到着し、しばらく自由遊びをした後に、近くの「むかわの湯」（温泉）に行き、体の緊張をほぐしました。夕飯は、地元のお米や野菜を中心に野外でビュッフェ形式で美味しくいただきました。花火をして、寝る直前まで、屋外で遊びました。希望者はテントに泊まりました。2日目の朝食は、棒にパン生地を巻き付け、焚火で焼いて食べました。その後、近くの大武川で本格的な川遊びをしました。ライフジャケットを身に付けて川の流れにのって何回も川下りをしました。川遊びをしない人は、フェルトのボールを手作りワークショップを楽しみました。みんなのおうち公園には大きな木にハンモックやブランコがあり、ターザンロープも設置して思う存分遊びました。夕方には清里に移動して、調布市八ヶ岳少年自然の家に泊まり、ゆっくり過ごしました。3日目は清泉寮付近の森をレンジャーの案内で散策しました。恒例のソフトクリームを食べ、お土産を買いました。お互い仲良くなり、長時間のバスも楽しく過ごして帰りました。

今年度は、コロナが5類になり、参加者が増えると予想して、昨年度より定員を増やしましたが、子どもの参加が12名と想定より少ない人数でした。保養が求められていないのか、企画の問題なのか、参加した保護者からは、日程や料金設定についてアドバイスをもらいました。リピーターの子が半分を占め、成長してスタッフとして活躍したり、以前学生スタッフで参加してくれたメンバーが久しぶりに参加がありました。今回、調布市八ヶ岳少年自然の家では、体育館が改修工事のため、室内の運動遊びができず、残念でした。みんなのおうち公園に2泊して、じっくりと子どもたちに向き合うこととしました。あるスタッフから、武川は夏の活動場所としては暑すぎるので、清里方面の活動をメインにした方がよい、という意見も出ましたが、保養は避暑ということをメインに考えているわけではなく、大きなサポートをいただけるみんなのおうち公園スタッフとのコラボでの開催が望ましいとなりました。

活動の様子（写真など）

1 日目 バスで福島・郡山から「みんなのおうち公園」へ



←星空キッズツアー名物  
ターザンロープ



花火の後は、テントに→  
泊まったよ



2 日目 川遊び／自然の中で



↑朝食のパンは、自分で焼いた！



←川遊び ↑フェルトの  
ボールづくり



↑みんなのおうち公園をあとにして、  
次の宿泊地へ

調布市八ヶ岳少年自然の家にて

なにやら楽しそう →

2日目の夜も花火！



3日目 レンジャーさんと一緒に森の中を探検



あっという間の3日間  
また来年会おうね ↓

